

日本労働年鑑 第24集 1952年版

The Labour Year Book of Japan 1952

第一部 労働者状態

第三編 労働者・農民の組織状況

第二章 農民の組織状況

第二節 組織率

農家数と農民組合員数の対比から農民の組織率を算出する方法には必ずしも疑問がないわけではないが、農民の組織率の地域的比較その他の便宜のため、五一年版と同様の方法によって五〇年度の組織率を算出した。なお農家数は四九年四月の農地センサスによった。第84表「農民組合員数と組織率」によれば、全国的に見て、日農は一・二・五%、全農二・四%、全日農〇・〇五%、農民連盟その他の組合六・八%、単独組合四・八%となっている。日農は宮城五〇・二%、秋田二六・六%、群馬四五・九%、鳥取三一・五%、佐賀三二・二%など高い組織率を示しており、埼玉、千葉、愛媛、三重、山口などの組織率は低い。全農は岐阜、大阪、長崎、宮崎などが組織率高く、農民連盟(農青連)系統は北海道七四%を筆頭に、富山、福井、福岡などの組織率が高い。

日本労働年鑑 第24集 1952年版

発行 1951年10月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年6月1日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1952年版(第24集)【目次】 次のページ→ ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)